

2015年度 工学部電気電子情報工学科 教育課程表(2012年度から2013年度入学者に適用)

(学年は標準年次を示す)

	1年次						2年次						3年次						4年次						卒業要件 単位数		
	1セメスター			2セメスター			3セメスター			4セメスター			5セメスター			6セメスター			7セメスター			8セメスター					
	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者			
基礎 科目	幾何学I	○4	何森	幾何学II	○4	小林	微分積分学III	○4	鈴木(友)	微分方程式	4	永野	代数学I	2	東川 勝野	代数学II	2	東川 勝野							34 以上		
	微分積分学I	○4	永野	微分積分学II	○4	鈴木(友)	物理学II	○4	田村	関数論II	2	勝野 儀我 松田	物理学IV	○2													
	物理学概説 情報処理演習I 微分積分学入門	○4 ○1 4	客野 佐々木 (休講)	物理学I	○4	客野 田村 *5	関数論I	2	勝野 村田	物理学III	○2																
必修 科目	電気電子情報入門	○2	*1	情報技術I	○2	松澤 能登 山口 平岡	電気電子情報実験A 情報技術II	○1.5 ○2	*2A 能登 豊嶋 木下 *3A	電気電子情報実験B 電気回路II 電気回路演習 電気磁気学I	○1.5 ○2 ○1 ○2	*2B *3A *3B 穴田 中山 陳 平岡	電気電子情報実験C 電気磁気学II 電気磁気学演習	○2 ○2 ○1	*4A 穴田 中山 穴田 中山 土屋 陳 平岡	電気電子情報実験D △電気磁気学II △電気磁気学演習 輪講I	○2 2 1 ○1	*4B 米田 米田 *1	輪講II(通年)			卒業研究(通年)			○2 ○8	*1 *1	37
	倫理科目			情報と倫理	2	前田							技術者倫理	2	大西	技術者倫理	2	大西							2 以上		
	専攻 科目	専門基礎科目						基礎電子物性工学 情報システム基礎 情報数学 計測工学	2 2 2 2	山口 松澤 木下 阿部	電子回路I デジタルシステム基礎 情報ネットワーク 基礎電気数学II	2 2 2 2	島 土屋 豊嶋 阿部 木下 新中													6 以上	
選択 科目		専門科目											通信工学基礎 エネルギー工学 基礎制御工学 光波電磁波 音響・超音波工学 電子回路II 物性科学 コンピュータI 電子デバイス 高電圧工学 電気機器	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	齊藤 松木 新中 穴田 遠藤 島 中山 森住 執行 渋谷 渡邊	ヒューマン情報処理 応用電子物性工学 電波工学 伝送回路 集積回路工学 デジタル信号処理 半導体工学 コンピュータII 量子電子工学 電気機器設計製図 電気応用 電力工学 電気電子情報特別講義 パワーエレクトロニクス基礎	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	松澤 山口 関根 穴田 島 豊嶋 平手 森住 井上 村岡 電子 佐々木 米田 譲原	電気法規 通信網工学	2 2	牧野 加保	電波法規	2	三谷			16 以上
		関連科目						基礎化学I 化学実験 生物学概説I	2 1 2	亀山 岩倉 岩倉 石田 朝倉	基礎化学II 化学実験 生物学概説II 生物学実験 情報と職業	2 1 2 1 2	亀山 岩倉 岩倉 石田 朝倉 中川 古川	応用数学I 確率・統計I	2 2	平田 五明	代数学概論 統計物理学I	2 2	伊東 客野	量子物理学I 統計物理学I	2 2	西野 客野	応用数学II 確率・統計II 知的財産権 量子物理学II 統計物理学II	2 2 2 2 2	平田 儀我 松山 野村 矢崎		

計95以上

16以上

\*1: 専任者全員 \*2A: 山口, 阿部, 世良, 陳, 土屋 \*2B: 阿部, 遠藤, 世良, 陳, 土屋 \*3A: 遠藤, 新中, 渡邊 \*3B: 遠藤, 島, 渡邊  
\*4A: 新中, 穴田, 池田, ニコデマス, 平岡, 松澤, 米田 \*4B: 木下, 池田, 島, 豊嶋, 中山, ニコデマス, 能登, 平岡, 松木, 米田  
\*5: 渡邊(竣), 客野, 佐々木, 相澤, 小谷, 半揚

【備 考】

- 1 基礎科目のうち、○印は必ず修得しなければならない。□印は、[卒業要件]の2で示す科目を表す。
- 2 △印は再履修授業科目を表す。

【履修要件】

- 1 上位年次の授業科目を履修することはできない。ただし、基礎科目においては2年次から、選択科目においては3年次から、関連科目においては2年次から、この制限を設けない。
- 2 他学部他学科開講の授業科目を履修する場合は、受講者数に制限があるので、担任者の許可が必要である。
- 3 受講するクラスが指定されている授業科目は、授業時間割表の指示に従って受講すること。
- 4 1年間に履修登録できる単位数は、54単位を上限とし、かつ各セメスターに履修できる上限は30単位とする。(通年科目については、その科目の単位数を二分割し、各セメスターの単位数として換算する)。ただし、第二外国語、選択英語、および資格教育課程に関する科目については、この制限を適用しない。
- 5 「微分積分学入門」の履修は「微分積分学Ⅰ」及び「微分積分学Ⅱ」の未修得者に限る。

【進級要件】

(1年次から2年次)

1年次終了までに、F Y Sの単位を含めて学則所定の「卒業要件単位数」のうち28単位以上を修得した者。

(2年次から3年次)

2年次終了までに、次の単位を含めて学則所定の「卒業要件単位数」のうち60単位以上を修得した者。

(1) 電気電子情報実験A・Bを含む必修科目8単位以上。(基礎科目を除く)

(3年次から4年次) [卒業研究履修資格]

3年次終了までに、次の単位を含めて学則所定の「卒業要件単位数」のうち100単位以上を修得した者。

(1) 電気電子情報実験C・Dおよび論講Ⅰを含む必修科目19単位以上。(基礎科目を除く)

【学外単位認定制度】

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。ただし、2012年度以前の入学者については、各セメスターの履修制限単位数には含めない。

- 1 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

【卒業要件】

- 1 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

授業科目 入学年度	共通科目							専攻科目					合計		
	F Y S	外国語科目	教養系科目				共通科目合計	基礎科目	必修科目	倫理科目	選択科目			関連科目	専攻科目合計
			キャリア形成科目	人文の分野	社会の分野	自然の分野					健康科学の分野	専門基礎科目			
2012から2013 年度入学	2	8	1	4	4	4	33	34	37	2	6	16	95	128	

- 2 基礎科目については、「物理学Ⅰ」、「物理学Ⅱ」、「物理学Ⅲ」、「物理学Ⅳ」、「物理学実験Ⅰ」のうち、9単位以上を修得しなければならない。
- 3 共通科目についてはF Y S及び外国語のほか、人文の分野、社会の分野および自然の分野から各々4単位以上、キャリア形成分野から1単位以上を修得しなければならない。また、自然の分野で卒業要件にできるのは、6単位以下である。
- 4 外国語科目は、必修科目としての英語を8単位修得しなければならない。
- 5 倫理科目の「情報と倫理」、「技術者倫理」から、2単位以上を修得しなければならない。
- 6 専門基礎科目6単位以上を含め、選択科目合計で22単位以上を修得しなければならない。ただし、下記の科目は選択科目の専門科目単位に総計8単位まで換算できる。
  - (1) 倫理科目のうち2単位を超える科目
  - (2) 卒業要件単位を超える基礎科目
  - (3) 関連科目および、他学部・他学科開講の専攻科目
  - (4) 同一言語同一名称の科目をⅠ・Ⅱのペアで修得した(必修以外)外国語科目。
  - (5) 資格教育課程の「教職に関する科目」(教職課程登録者を対象とする。)
- 7 総合工学プログラムから電気電子情報工学科に分類された学生は、総合工学プログラムの卒業要件に従って履修した専攻科目の修得単位を電気電子情報工学科の専攻科目に置き換えることができる。

教育課程における標準年次の区切線について

- ① 標準年次が実線(——)で区切られている場合、原則として上位年次の授業科目は履修できません。
- ② 標準年次が破線(……)で区切られている場合、原則として上位年次の授業科目は履修できますが、[履修要件]等にしながら履修できない授業科目もありえますので注意してください。